

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	20mm 未満の大腸上皮性腫瘍に対する NBI 拡大内視鏡診断と治療選択
研究責任者 (所属科名)	永田信二 (消化器内科)
本研究の目的・意義	大腸上皮性腫瘍の質的量的診断では pit pattern 診断が Gold Standard であるが、NBI は pit pattern 診断と組み合わせることで内視鏡診断を効率的に行うことができ、日常診療において重要な検査法となっている。近年、偶発症が少なく簡便な cold polypectomy が多くの施設で行われるようになったが、不完全切除の問題もあり、適切な治療法を選択するための術前内視鏡診断がより重要となる。そこで今回、大腸上皮性腫瘍の病型、腫瘍径、拡大内視鏡所見と病理組織学的所見から適切な治療法選択について検討する。
調査方法・研究期間	後ろ向き観察研究 データ収集期間：2006 年 1 月から 2017 年 1 月 研究期間：2018 年 5 月までを予定。
該当資料・データ	★対象となる患者様 2006 年 1 月から 2017 年 1 月までに 20mm 未満の大腸上皮性腫瘍に対して NBI 拡大観察と pit pattern 診断後に内視鏡的切除された方 ★利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：082-257-5211 担当者：嶋田 賢次郎 (内視鏡内科 副部長)
備考	